



羽黒権現社について調べるには

〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

昔、戸田の渡船場近くには「羽黒権現社」という神社がありました。現在は上戸田の氷川神社に合祀されその姿を見ることはできませんが、当時は『江戸名所図会』にも紹介されるほど賑いのある神社だったようです。

『江戸名所図会』は、江戸とその近郊の名所を絵入りで紹介した地誌のことで、文政12（1829）年に成立し、天保5（1934）-7（1936）年に刊行されました。

『日本国語大辞典』第2巻 小学館 2001年 p.670『江戸名所図会』 / 『角川日本史辞典』角川書店 1996年 p.126「江戸名所図会」より]

「羽黒権現社」について調べるためのキーワード

羽黒権現社、羽黒権現宮、出羽三山信仰、上戸田氷川神社、江戸名所図会
羽黒山、羽黒ノ宮、羽黒宮、羽黒社、上戸田村

オンライン目録(OPAC)、インターネット及び各種データベースを検索する際の参考にしてください。

テーマの棚に行って本を探す

●図書館の本は一冊ずつ分類記号が付いています。棚の本は分類記号の番号順に並んでいます。「羽黒権現社」に関する資料には、以下の分類記号が付いています。本を探すときの目安にしてください。

※これがすべてではありません。

「羽黒権現社」に関する主な分類記号

175	神社	213.4	埼玉県 of 歴史	291.34	埼玉県 of 地誌
-----	----	-------	-----------	--------	-----------

戸田市立図書館所蔵の羽黒権現社関係資料紹介

●戸田市立図書館で所蔵する資料の中から、事例別に「羽黒権現社」について調べることができる本を次ページより紹介します。

※2016年2月1日現在 / これがすべてではありません。

創建と合祀の時期について調べる

■創建及び上戸田氷川神社に合祀された時期について調べたい場合は、以下の本が参考になります。
これらの本は、羽黒権現社について基本的な情報を調べる場合にも活用できます。

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史』 通史編 上	戸田市	1986	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.1133-1134「上戸田村の神社」／p.1164「出羽三山信仰」 創建時期及び合祀についての記述があります。羽黒権現社についての概要を知ることができます。			
『戸田市史』 民俗編	戸田市	1983	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.963-964「村の神」 合祀についての説明があります。合祀の際の騒動についても触れています。 p.1324「新編武蔵風土記稿」 『新編武蔵風土記稿』※1の活字版が掲載されています。上戸田村の神社「羽黒権現社」の項に創建時期の記述があります。 p.1339-1340「武蔵国郡村誌」 『武蔵国郡村誌』※2の活字版が掲載されています。上戸田村の名勝「羽黒山」の項に創建時期の記述があります。 p.1377「戸田羽黒山縁起」 『神道大系』※3所収の「戸田羽黒山縁起」活字版が掲載されています。創建時期についての記述があります。			
『新嘗・上戸田の民俗』	戸田市	1987	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.164-169「信仰」 創建時期及び合祀についての記述があります。羽黒権現社について概要を知ることができます。			
『戸田市史年表』	戸田市	1991	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.27「宝徳二年」 創建時期について二つの説があることを紹介しています。			
『蕨市の歴史』 2	吉川弘文館	1967	T213.4	本館2階・郷土蕨
	p.1078「宗教」 創建時期についての記述があります。江戸時代の日記等から羽黒権現社の賑わいぶりも紹介しています。			

※1『新編武蔵風土記稿』は、文化文政年間（1804-1829）に幕府によってまとめられた武蔵国村々の地誌です。
【『戸田市史』民俗編 p.1317「解説」より】

※2『武蔵国郡村誌』は、明治8（1875）年に各府県が作成し国に提出した地誌です。
【『戸田市史』民俗編 p.1317「解説」より】

※3『神道大系』は、神道文献や古典籍類を集成した叢書。全120巻。昭和52（1977）-平成19（2007）年にかけて刊行されました。
【『神道史大辞典』吉川弘文館 2004年 p.557「神道大系」／
国立国会図書館蔵書検索（2016年2月1日現在）より】

■創建及び上戸田氷川神社に合祀された時期については、以下の本にも記述があります。

書 名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市の石造物』	戸田市	1980	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.78-80「出羽三山供養塔」 創建時期及び合祀についての記述があります。			
『戸田市史研究』3 「羽黒橋・羽黒権現宮」	戸田市	1979	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.21「羽黒橋・羽黒権現宮」 創建時期のみ記述があります。			
『羽黒権現宮関係史料 及び蕨城の近辺図』 複製	田村泰三	1976	T175	本館2階・郷土戸田
	p.21「羽黒橋・羽黒権現宮」 創建時期のみ記述があります。同資料には本殿の縮小図の掲載もあります。			
『新編武蔵風土記稿』 5	歴史図書社	1969	T291.3	本館2階・郷土埼玉
	p.530「羽黒権現社」 上戸田村の神社「羽黒権現社」の項に創建時期の記述があります。			
『武蔵国郡村誌』1	埼玉県立図書館	1953	T291.3	本館2階・郷土埼玉
	p.235-236「羽黒権現社」 上戸田村の名勝「羽黒山」の項に創建時期の記述があります。「神社」の項には祭礼日の記述もあります。			
『近郊散策江戸名所図 会を歩く』	東京堂出版	1997	291.36	本館1階・開架閲覧室
	p.198-200「戸田川渡口・羽黒権現宮」 創建時期のみ記述があります。			
『埼玉風景』237 「ほの三日月の」	埼玉風景クラブ	1989	T910.5	本館2階・郷土埼玉
	p.20「戸田羽黒権現宮」 創建時期及び合祀についての記述があります。			
『芭蕉句碑を歩く』	さきたま出版会	1982	T911.3	本館2階・郷土埼玉
	p.10「氷川神社の句碑」 創建時期及び合祀についての記述があります。			
『埼玉の神社』	埼玉県神社庁	1998	T175.9	本館2階・郷土埼玉
	p.500「氷川神社」 創建時期及び合祀についての記述があります。			
『中山道分間延絵図』 1 解説編 ※4	東京美術	1976	T291.5	本館2階カウンター
	p.23「羽黒ノ宮」 創建時期のみ記述があります。			

※4『中山道分間延絵図』は、寛政12（1800）年、幕府の命令により道中奉行が実地測量して作成した「五街道分間延絵図」全91巻の一部（中山道部分は10巻）です。文化3（1806）年に完成しました。
【同書巻頭の「序文」／『国史大辞典』5 吉川弘文館 1984年 p.576「五街道分間延絵図」より】

羽黒権現社のあった場所について調べる

■羽黒権現社がどこにあったのかを調べる場合は、以下の本が参考になります。

【戸田市に関する資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史』 通史編 上	戸田市	1986	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.1133「上戸田村の神社」 羽黒権現社が現在のどこにあったかの記述があります。			
『戸田むかし史ある記』	戸田市	1982	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.30「氷川神社と羽黒権現社」 羽黒権現社が現在のどこにあったかの記述があります。			
『戸田市史研究』1	戸田市	1977	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.53「羽黒権現宮」 羽黒権現社が現在のどこにあったかの記述があります。			
『戸田市史研究』3	戸田市	1979	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.21「羽黒橋・羽黒権現宮」 羽黒権現社が現在のどこにあったかの記述があります。			
『戸田河岸と 荒川の舟運』 第19回特別展	戸田市立郷土博物館	2003	T069.9	本館2階・郷土戸田
	p.15「第五号 埼玉県管内荒川平面図」 掲載されている明治34～38年の地図に「羽黒社」の文字があります。現在の地図と照合して場所を特定することができます。			

【その他の資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『埼玉風景』237 「ほの三日月の」	埼玉風景クラブ	1989	T910.5	本館2階・郷土埼玉
	p.21「戸田羽黒権現宮」 羽黒権現社が現在のどこにあったかの記述があります。			
『荒川』人文Ⅱ	埼玉県	1988	T517.2	本館2階・郷土特集棚
	p.200「第12図 戸田河岸」 明治末期から昭和初期の川岸地区家並み図に羽黒権現社が描かれています。戸田橋との位置関係を知ることができます。			
『近郊散策 江戸名所図会を歩く』	東京堂出版	1997	291.36	本館1階・開架閲覧室
	p.199「戸田川渡口・羽黒権現宮」 羽黒権現社が現在のどこにあったかの記述があります。			
『日本名所風俗図会』 4所収「江戸名所図会」	角川書店	1980	R291.0	本館2階・参考資料室
	p.392「戸田川渡口・羽黒権現宮」 戸田渡船場と羽黒権現社を描いた絵が紹介されています。渡船場との位置関係を知ることができます。			

◆◆◆ 羽黒権現社にまつわる伝説について調べる ◆◆◆

■羽黒権現社にまつわる伝説について調べる場合は、以下の本が参考になります。

【戸田市に関する資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史』 通史編 上	戸田市	1986	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.1133-1134「上戸田村の神社」／p.1164「出羽三山信仰」 『新編武蔵風土記稿』『江戸名所図会』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			
『戸田市史』 民俗編	戸田市	1983	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.1287「羽黒山のへび」 羽黒山の「へび」に関する伝説が紹介されています。 p.1324「新編武蔵風土記稿」／p.1340「武蔵国郡村誌」／p.1377「戸田羽黒山縁起」 「霊水」にまつわる伝説が紹介されている上記資料活字版の掲載があります。			
『新曾・上戸田の民俗』	戸田市	1987	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.164-165「信仰」 『新編武蔵風土記稿』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。 p.167「信仰」 上戸田氷川神社に収蔵されている羽黒権現社の「神輿」に関する伝説が紹介されています。			
『戸田市の石造物』	戸田市	1980	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.78「出羽三山供養塔」 『江戸名所図会』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			
『戸田市史研究』1	戸田市	1977	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.53「羽黒権現宮」 『江戸名所図会』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			

【埼玉県に関する資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『埼玉県伝説集成』 上	北辰図書出版	1973	T338.1	本館2階・郷土埼玉
	p.177「榎の御神水」 『江戸名所図会』『新編武蔵風土記稿』『遊歴雑記』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			
『蕨市の歴史』 2	吉川弘文館	1967	T213.4	本館2階・郷土蕨
	p.1078「宗教」 『新編武蔵風土記稿』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。江戸時代の日記より「へび」に関する噂話の紹介もあります。			
『埼玉風景』 237 「ほの三日月の」	埼玉風景クラブ	1989	T910.5	本館2階・郷土埼玉
	p.21「戸田羽黒権現宮」 『新編武蔵風土記稿』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			

『埼玉風景』 234 「静安詩 戸田とその周辺」	埼玉風景クラブ	1988	T910.5	本館2階・郷土埼玉
	p.21「羽黒山木Y水」 羽黒権現社を題材にした岡田静安の漢詩を紹介をする中で『江戸名所図会』『新編武蔵風土記稿』に記述のある「霊水」にまつわる伝説に触れています。			
『埼玉の神社』	埼玉県神社庁	1998	T175.9	本館2階・郷土埼玉
	p.500「氷川神社」 「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。出典は明記されていません。			

【その他の資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『日本名所風俗図会』 4所収「江戸名所図会」	角川書店	1980	R291.0	本館2階・参考資料室
	p.392-393「戸田羽黒霊水」 「霊水」にまつわる伝説について絵入りで見ることができます。			
『近郊散策江戸名所図会を歩く』	東京堂出版	1973	T388.1	本館2階・郷土埼玉
	p.199「戸田川渡口・羽黒権現宮」 『江戸名所図会』の紹介及び『戸田羽黒山縁起』『新編武蔵風土記稿』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			
『江戸叢書』3 所収「遊歴雑記」※5	日本図書センター	1980	R081	本館地下書庫
	p.347-350「足立郡羽黒権現の神水」 「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			
『鼠璞十種』中※6	中央公論社	1978	914.5	本館地下書庫
	p.255「道聴塗説」第七編「可禁無益殺生」 「霊水」の御利益にあやかろうとした人の話が紹介されています。			
『定本柳田国男集』7	筑摩書房	1968	380.8	本館2階・一般書
	p.28「孝子泉の伝説」 『遊歴雑記』に記述のある「霊水」にまつわる伝説が紹介されています。			

※5『遊歴雑記』は、江戸小日向本法寺の住職である大 浄 敬 順 が、江戸近郊の名勝古跡を遊歴して書いた紀行文です。文政12（1829）年に完稿しました。

【同書巻頭の解説／『日本古典文学大辞典』6 岩波書店 1985年 p.124「遊歴雑記」より】

※6『鼠璞十種』は、大正5（1916）年に江戸文化研究家の三田村 鳶 魚により江戸時代の未刊随筆を集めて刊行された叢書です。大郷信斎著「道聴塗説」は、文政8（1825）年から天保元（1830）年に至る年の世相の記録です。

【同書巻末の後記／『国立国会図書館デジタルコレクション』書誌情報（2016年2月1日確認）より】



今回、紹介した資料以外にも「羽黒権現社」について記述されている資料を知っている方は、戸田市立図書館まで情報の提供を御願います。資料収集の参考にします。

◆◆◆ 羽黒権現社に関する石造物について調べる ◆◆◆

■羽黒権現社に関する石造物は、現在、上戸田氷川神社に移され保管されています。それら石造物について調べる場合は、以下の本が参考になります。

書 名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史』 通史編 上	戸田市	1986	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.1132-1134「上戸田村の神社」／p.1164「出羽三山信仰」／p.1188「詩歌と俳諧」 上戸田氷川神社に合祀された際に移設された石造物（手洗石、狛犬、供養塔及び芭蕉句碑）の説明があります。			
『戸田市の石造物』	戸田市	1980	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.81「出羽三山供養塔」／p.116-117「歌碑」／p.120「力石」 上戸田氷川神社に移設された石造物（力石、供養塔及び芭蕉句碑）の説明があります。			
『戸田むかし史ある記』	戸田市	1982	T213.4	本館2階・郷土戸田
	p.29-30「氷川神社と羽黒権現社」 羽黒権現社から上戸田氷川神社に移設された石造物（手洗石、狛犬、力石、供養塔及び芭蕉句碑）の説明があります。			
『芭蕉句碑を歩く』	さきたま出版会	1982	T911.3	本館2階・郷土埼玉
	p.10「氷川神社の句碑」 羽黒権現社から上戸田氷川神社に移設された芭蕉句碑が紹介されています。			
『埼玉の神社』	埼玉県神社庁	1998	T175.9	本館2階・郷土埼玉
	p.501「氷川神社」 上戸田氷川神社の境内配置図があります。羽黒権現社から移設された石造物が現在どこに設置されているかが分かります。			
『日本名所風俗図会』 4所収「江戸名所図会」	角川書店	1980	R291.0	本館2階・参考資料室
	p.393「戸田川渡口」 戸田渡船場と羽黒権現社を描いた絵の中に芭蕉句碑（鳥居の脇）を見ることができます。			

※「羽黒権現社」に関するレファレンス事例は、戸田市立図書館ホームページの「レファレンス事例検索」でも紹介しています。キーワードに「羽黒権現社」と入力して検索してください。